

東北地方 3か月予報

(11月から1月までの天候見通し)

平成22年10月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

11月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

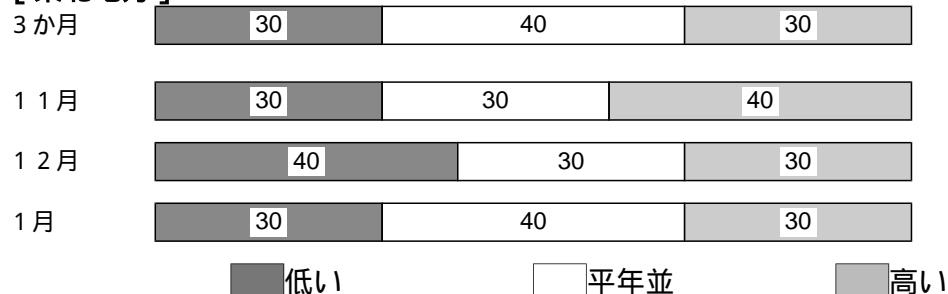
12月 東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

1月 東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

<向こう3か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

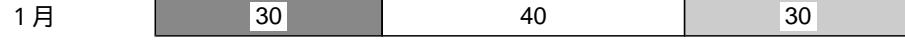
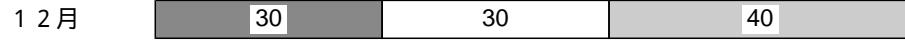
<<気温>>

[東北地方]

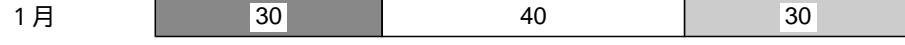
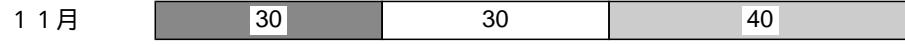


<<降水量>>

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



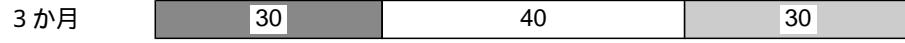
■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

<<降雪量>>

[東北日本海側]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月29日

3か月予報：11月25日(木) 14時

11月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

なお、最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ寒候期の天候について検討しましたが、9月22日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間、降雪量)

| | 気温() | | | | 降水量(mm) | | | | 日照時間(時間) | | | |
|-----|-------|-----|------|--------|---------|-------|-------|--------|----------|-------|-------|--------|
| | 11月 | 12月 | 1月 | 11月～1月 | 11月 | 12月 | 1月 | 11月～1月 | 11月 | 12月 | 1月 | 11月～1月 |
| 青森 | 6.4 | 1.3 | -1.4 | 2.1 | 131.7 | 148.6 | 144.9 | 425.4 | 91.4 | 54.7 | 56.7 | 202.8 |
| 深浦 | 7.5 | 2.5 | -0.4 | 3.2 | 147.2 | 126.2 | 96.9 | 367.4 | 71.4 | 34.3 | 31.3 | 137.3 |
| むつ | 6.3 | 1.2 | -1.6 | 2.0 | 115.4 | 93.3 | 96.0 | 304.4 | 106.5 | 73.7 | 77.0 | 256.6 |
| 八戸 | 6.6 | 1.6 | -1.2 | 2.4 | 61.2 | 41.7 | 48.2 | 150.1 | 136.5 | 128.4 | 134.5 | 400.8 |
| 秋田 | 7.6 | 2.8 | -0.1 | 3.4 | 183.5 | 163.8 | 114.4 | 459.4 | 84.7 | 47.6 | 44.6 | 177.4 |
| 盛岡 | 5.7 | 0.8 | -2.1 | 1.4 | 93.1 | 64.5 | 50.6 | 206.9 | 118.8 | 104.4 | 124.0 | 347.7 |
| 大船渡 | 8.2 | 3.5 | 0.7 | 4.1 | 104.5 | 36.9 | 43.5 | 186.5 | 139.5 | 139.6 | 148.6 | 427.8 |
| 宮古 | 7.7 | 3.0 | 0.2 | 3.7 | 85.6 | 39.9 | 52.6 | 176.4 | 146.3 | 151.6 | 163.6 | 462.0 |
| 仙台 | 9.1 | 4.3 | 1.5 | 4.9 | 66.8 | 26.4 | 33.1 | 128.8 | 140.2 | 144.7 | 151.3 | 435.5 |
| 石巻 | 8.3 | 3.4 | 0.5 | 4.1 | 65.1 | 24.8 | 33.1 | 123.4 | 149.3 | 155.4 | 167.6 | 471.6 |
| 山形 | 7.2 | 2.4 | -0.5 | 3.0 | 80.8 | 77.2 | 75.4 | 233.8 | 99.6 | 85.1 | 89.6 | 273.4 |
| 新庄 | 6.2 | 1.4 | -1.3 | 2.1 | 195.4 | 210.9 | 181.4 | 587.5 | 62.1 | 37.3 | 43.1 | 142.2 |
| 酒田 | 9.0 | 4.3 | 1.5 | 4.9 | 223.9 | 201.9 | 152.6 | 582.9 | 80.4 | 44.8 | 39.9 | 165.2 |
| 福島 | 9.0 | 4.2 | 1.4 | 4.8 | 63.4 | 32.5 | 43.8 | 140.2 | 130.6 | 130.7 | 136.6 | 398.0 |
| 若松 | 7.0 | 1.9 | -0.7 | 2.7 | 73.3 | 83.3 | 80.9 | 239.0 | 88.3 | 72.0 | 80.9 | 239.7 |
| 白河 | 7.6 | 2.7 | 0.2 | 3.5 | 65.0 | 25.0 | 30.6 | 121.3 | 146.4 | 157.8 | 160.9 | 464.1 |
| 小名浜 | 10.8 | 6.1 | 3.6 | 6.8 | 87.7 | 35.0 | 46.2 | 174.1 | 160.2 | 184.8 | 189.6 | 533.4 |

| | 降雪量(cm) | | | |
|-----|---------|-----|-----|--------|
| | 11月 | 12月 | 1月 | 11月～1月 |
| 青森 | 40 | 170 | 250 | 463 |
| 深浦 | 13 | 77 | 123 | 215 |
| むつ | 21 | 101 | 175 | 302 |
| 八戸 | 8 | 52 | 95 | 154 |
| 秋田 | 13 | 79 | 142 | 236 |
| 盛岡 | 11 | 68 | 106 | 187 |
| 大船渡 | 2 | 11 | 23 | 36 |
| 宮古 | 1 | 19 | 43 | 63 |
| 仙台 | 1 | 14 | 29 | 43 |
| 石巻 | 1 | 7 | 13 | 21 |
| 山形 | 12 | 92 | 163 | 269 |
| 新庄 | 28 | 168 | 283 | 483 |
| 酒田 | 10 | 64 | 138 | 213 |
| 福島 | 2 | 35 | 86 | 125 |
| 若松 | 9 | 100 | 185 | 297 |
| 白河 | 2 | 25 | 58 | 87 |
| 小名浜 | 0 | 1 | 5 | 5 |

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

| 要素 | 予報対象地域 | 11月 | 12月 | 1月 | 11月～1月 |
|-----------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 気温平年差() | 東北地方 | -0.3～+0.5 | -0.3～+0.5 | -0.3～+0.8 | -0.3～+0.5 |
| | 東北日本海側 | -0.3～+0.5 | -0.2～+0.6 | -0.3～+0.7 | -0.2～+0.5 |
| | 東北太平洋側 | -0.3～+0.6 | -0.1～+0.5 | -0.3～+0.8 | -0.2～+0.5 |
| 降水量平年比(%) | 東北地方 | 80～107 | 80～107 | 81～103 | 86～105 |
| | 東北日本海側 | 92～103 | 88～106 | 93～109 | 94～101 |
| | 東北太平洋側 | 68～111 | 69～116 | 62～104 | 80～104 |
| 降雪量平年比(%) | 東北地方 | 45～86 | 72～112 | 85～106 | 76～108 |
| | 東北日本海側 | 45～114 | 78～113 | 96～110 | 84～104 |
| | 東北太平洋側 | 27～60 | 57～114 | 72～102 | 74～115 |

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（11～1月）

平成22年10月25日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

| | |
|-------|---|
| 11～1月 | 平均気温は、各階級の確率の偏りは小さい。降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。東北日本海側の降雪量は、各階級の確率の偏りは小さい。 |
| 11月 | 気温は、各階級の確率の偏りは小さい。降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。 |
| 12月 | 気温は、各階級の確率の偏りは小さい。降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。 |
| 1月 | 気温は、各階級の確率の偏りは小さい。降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。 |

2. 寒候期予報の見直しについて

最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ寒候期の天候について検討しましたが、9月22日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。

3. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

数値予報による海面水温偏差の予想（右上図）では、赤道域は太平洋中部から東部にかけて顕著な負偏差、太平洋西部では正偏差で、ラニーニャ現象がこの期間継続する予想となっている。

海面水温分布に対応して、熱帯の降水量（図略）はベンガル湾からフィリピン付近にかけて平年に比べて多くなっており、その影響で偏西風はチベット付近から華南付近にかけて北に持ち上げられて蛇行し、その東の日本付近で南に蛇行する流れが現れており、過去のラニーニャ現象時の特徴と一致している。500hPa高度（右中図）は偏西風の南への蛇行と対応して日本付近は負偏差となっている。

海面気圧予想図（右下図）では、アリューシャン近海付近は明瞭な正偏差で、アリューシャン低気圧が弱いことを示している。シベリア付近も正偏差で、シベリア高気圧の勢力は強い傾向がある。日本付近は負偏差で、12月にこの傾向が強く現れており、寒気を伴った低気圧が日本に近い位置で発達し、冬型の気圧配置が強まる時期がある見込み。

月別の海面気圧予想図（図略）などからは、

11月：天気は数日の周期で変わると予想される。引き続き北半球中緯度の気温が高い状況であるが、日本付近は一時的な寒気の南下が見込まれる。

12月：東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いと予想される。日本付近を中心に負偏差におおわれており、低気圧が日本に近い位置で発達し、冬型の気圧配置が強まる時期がある見込み。

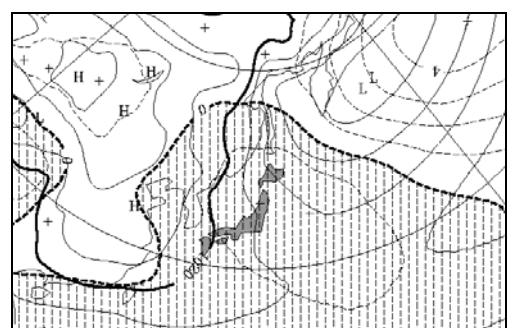
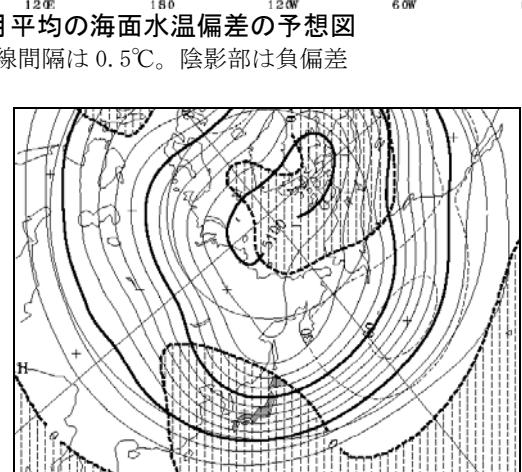
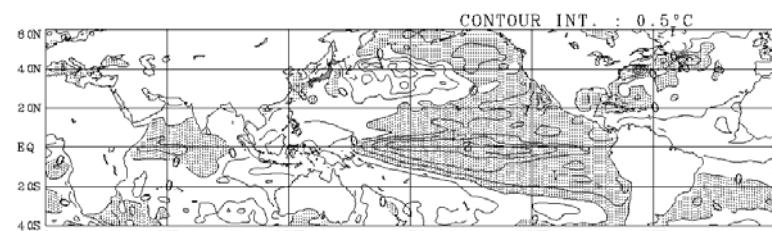
1月：東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いと予想される。偏西風の蛇行は12月と比べて弱まるが、日本付近に負偏差が予想されており、冬型の気圧配置が一時強まる見込み。

＜参考資料＞

平年の天気出現日数（日）

| | 青森 | | 秋田 | | 盛岡 | | 仙台 | | 山形 | | 福島 | |
|-----|------|------|-----|------|------|------|------|-----|------|------|------|-----|
| | 晴れ | 降水 | 晴れ | 降水 | 晴れ | 降水 | 晴れ | 降水 | 晴れ | 降水 | 晴れ | 降水 |
| 11月 | 10.4 | 16.8 | 9.5 | 17.8 | 14.9 | 11.5 | 18.5 | 6.3 | 11.3 | 11.7 | 16.8 | 6.8 |
| 12月 | 5.6 | 21.2 | 4.2 | 21.5 | 14.5 | 11.2 | 19.6 | 4.3 | 10.1 | 13.5 | 17.7 | 6.0 |
| 1月 | 5.5 | 22.1 | 3.6 | 20.6 | 17.0 | 9.7 | 20.9 | 5.5 | 10.9 | 15.2 | 18.6 | 7.9 |

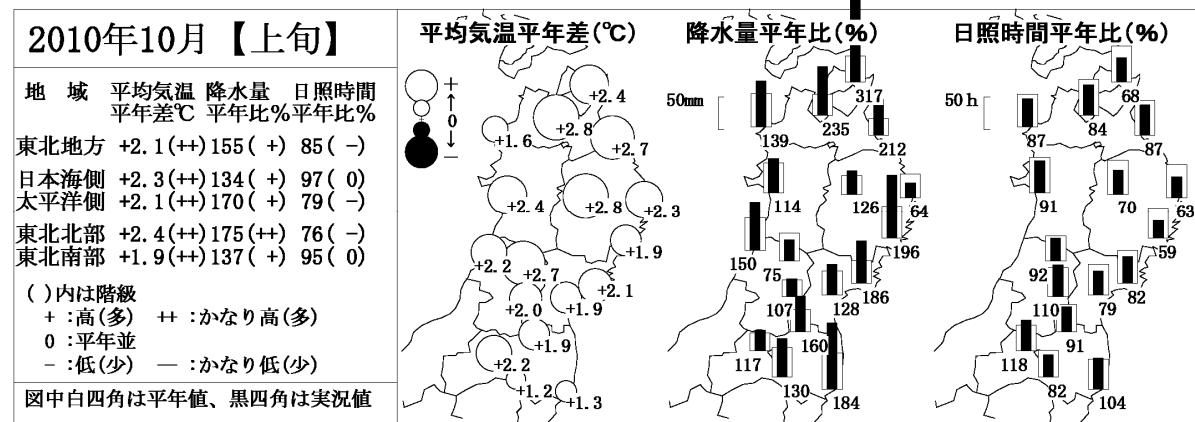
晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。



4. 最近の天候経過

10月上旬：この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くたが、はじめと中頃は高気圧におおわれ晴れた日があった。低気圧が3日から5日にかけて日本海を北上し、寒冷前線が4日に東北地方を横断したため、青森県と秋田県で大雨となった。また、9日から10日にかけて日本の南岸と日本海を低気圧が北東に進み、各地で大雨となった。気温は、南から暖かい空気が流れ込んだため高温となった。

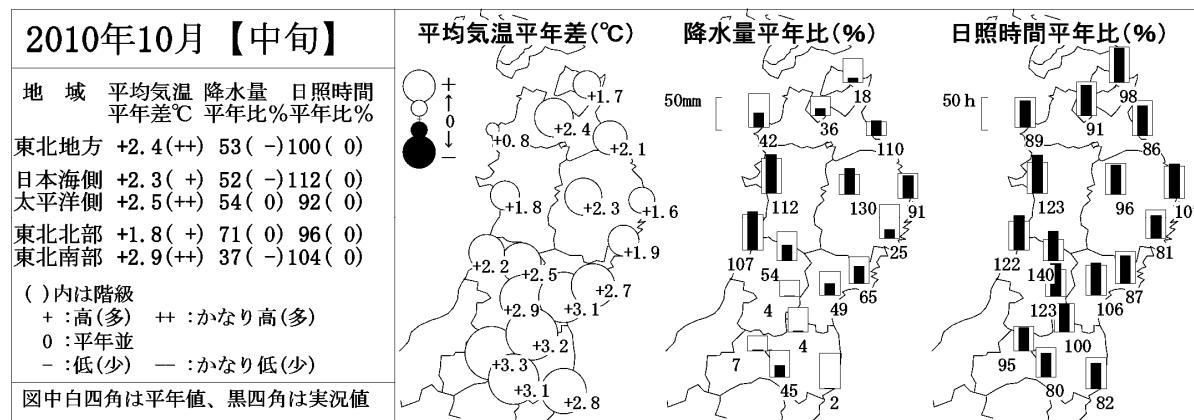
平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。



10月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

10月中旬：この期間、期間のはじめと終わりは高気圧におおわれ晴れたが、期間の中頃は、低気圧や前線の影響で曇りや雨となった。15日は日本の南岸と日本海を低気圧が北東に進み、東北北部を中心に大雨となった。また、17日は気圧の谷の影響で、秋田県で大雨となった所があった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。日照時間は東北地方で平年並。

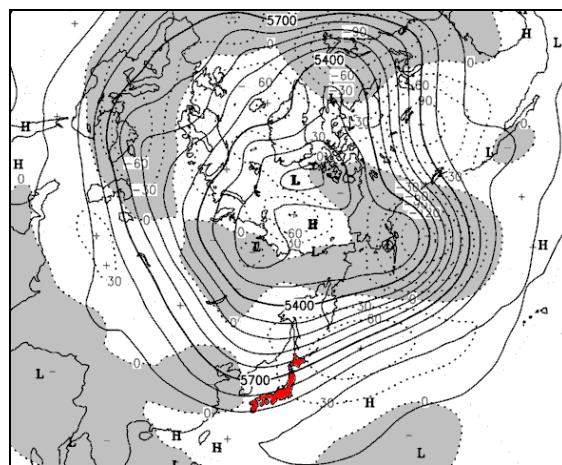


10月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

5. 今月の循環場の特徴

10月(20日まで)：500hPa高度は、日本の東海上で明瞭な正偏差となった。一方、黄海付近には負偏差がみられ、日本付近は西谷となった。

東北地方は南からの暖かく湿った気流が流れ込みやすかったため高温となり、大雨となった日があった。



10月1日～20日の平均500hPa高度
実線は等高度線(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。
陰影部は負偏差。